

製品名: CD122 マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM82016**

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	ELISA,FC
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG2b
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05%アジ化ナトリウムを含む PBS 中の精製抗体
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	ELISA 1:5000-1:20000,FC 1:200-1:400
分子量	61kDa

抗原情報

遺伝子名	CD122
別名	IL2RB; IL15RB; P70-75
遺伝子 ID	3560.0
SwissProt ID	P14784
免疫原	大腸菌で発現したヒト CD122 (AA: 余分な 27-240) の精製された組み換え断片。

背景

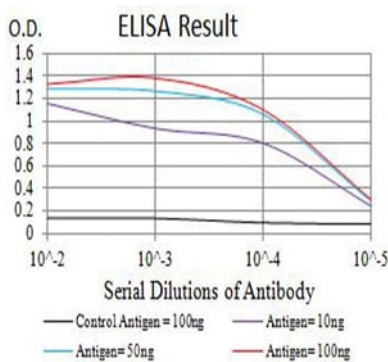
T細胞を介した免疫応答に関与するインターロイキン2受容体は、インターロイキン2への結合能に関して3つの形態で存在する。低親和性型はαサブユニットの単量体であり、シグナル伝達には関与しない。中親和性型はα/βサブユニットヘテロ二量体から構成さ

れ、高親和性型は $\alpha/\beta/\gamma$ サブユニットヘテロ三量体から構成される。中親和性型と高親和性型の両方の受容体は、受容体を介したエンドサイトーシスとインターロイキン 2 からの細胞分裂促進シグナルの伝達に關与する。この遺伝子によってコードされるタンパク質は β サブユニットであり、I 型膜タンパク質である。代替プロモーターの使用により、同じタンパク質をコードする複数の転写バリエーションが生じる。このタンパク質は主に造血系で発現する。一部のバリエーションでは、上流の長末端反復配列 (LTR) における代替プロモーターの使用により、胎盤特異的な発現が生じる。

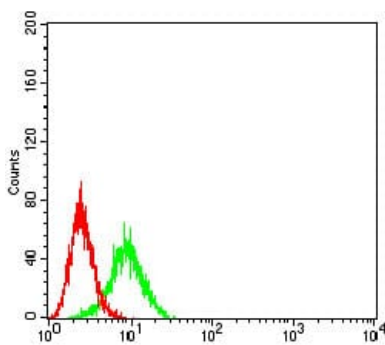
研究分野

TGF- β シグナル伝達経路、PI3K-Akt シグナル伝達経路、Jak-STAT シグナル伝達経路

画像データ



黒線: コントロール抗原 (100 ng) ; 紫線: 抗原 (10 ng) ; 青線: 抗原 (50 ng) ; 赤線: 抗原 (100 ng)



CD122 マウス mAb (緑) とネガティブコントロール (赤) を使用した Ramos 細胞のフローサイトメトリー分析。